

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 25 年 6 月 20 日 (2013.6.20)

【公表番号】特表 2012-526316 (P2012-526316A)  
 【公表日】平成 24 年 10 月 25 日 (2012.10.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-044  
 【出願番号】特願 2012-509074 (P2012-509074)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F 17/50 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 17/50 6 0 4 G

G 0 6 F 17/50 6 0 6 B

G 0 6 F 17/50 6 3 2

【手続補正書】  
 【提出日】平成 25 年 5 月 2 日 (2013.5.2)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 1 0 4  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 1 0 4】

その結果、ユーザは第 2 構成部品のグラフィック表現を変更することができ、同時に、第 1 構成部品を見ることもできる。これは特に、第 2 構成部品に行われる変更により、第 1 構成部品の形状を考慮に入れる必要のある場合に利点となる。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 1 1 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 1 1 1】

その上、第 1 形式、例えば上述の第 1 形式で書き込まれた、第 3 構成部品 16 の幾何学的表現を含むネイティブ CAD ファイル 208N が提供されている。言い換えれば、とりわけ、図 2C で確認されることが可能なように、第 3 構成部品の幾何学的表現がこの例では第 1 ソフトウェアパッケージを使って作成され、それによって、このネイティブ CAD ファイル 208N が生成される。第 3 構成部品 16 の幾何学的表現は、本発明の範囲を逸脱することなく、他の何らかのソフトウェアパッケージからも同様に良好に作成されることができ、それが明示される必要がある。